

テクニカルデータシート

Magnobond 56 A/B Magnolia 56 A/B

製品説明

Magnobond 56 A/Bは、グラスファイバーパネルと多種多様な基材の接着を目的とした強力エポキシ接着剤です。

特色

1. Magnobond 56は、グラスファイバー同士の接着だけでなく、グラスファイバーと木材・コンクリート・金属・発泡スチロール・エポキシなどの基材との接着でも非常に強力な接着性を発揮します。
2. 配合比（体積）が等しいため、利便性に優れています。
3. Magnobond 56は、1970年からグラスファイバーの接着で使用されている実績のある製品です。
4. 使用温度範囲は-51°F～+160°F / -46.1°C～+71.1°Cです。

表面処理

グラスファイバーと金属表面は必ずサンドブラストまたはサンドペーパーで処理し、溶剤でほこりをしっかり落としてください。コンクリートは、アルカリ洗浄剤またはムリアチン酸で洗浄し、清浄水ですみずみまで洗い流してから乾かしてください。多くの場合、接着作業で最も大切な要素が表面処理です。

特性

特性	Magnobond 56 A/B
保存期間	75°F / 23.9°C未満で出荷日から12ヶ月
硬化条件	昼夜 - セットアップ。 接着強度は75°F / 23.9°Cで1～2日後に発現。 耐薬品性は室温で7～10日後に最大化。 ゆるやかな加熱により硬化過程が加速化。 例 150°F / 65.6°Cで1時間
配合比（重量）（A剤：B剤） （体積）（A剤：B剤）	100:77 1:1
可使時間	75°F / 23.9°Cで1～2時間。高質量または高温の場合、可使時間は短くなる。一方、低質量または低温の場合、可使時間は長くなる。
比重	A剤：1.3 B剤：0.9 混合：1.1

その他の特性と情報

重ね合わせせん断接着強さ	psi	ASTM D-1002準拠	
アルミニウム同士			4,200
ポリエステルグラスファイバー同士			1,000*

*この数値は、接着したパネルの強度を上回ります。

圧縮降伏強度	psi	ASTM-D-695準拠	7,500
圧縮弾性率	psi	ASTM-D-695準拠	350,000
引張強度	psi	ASTM-D-638準拠	4,500
引張伸び	%	ASTM-D-638準拠	20
曲げ強さ	psi	ASTM-D-790準拠	9,000
吸水率	%	ASTM-D-570準拠	
水浸漬時間	24時間		0.5%

本紙に掲載されている情報は、当社が独自に行った研究によって得られたデータに基づいており、正確を期すよう努めておりますが、本データの使用によりもたらされる結果、あるいは本データの使用がいかなる特許も侵害しないことに関して、明示的または暗示的なものも含めて一切保証いたしません。本紙に掲載されている情報は、その情報の提供を受ける者が独自に試験を実施して特定の用途への適合性を判断するという条件で提供されるものとします。

Copyright © 2018, Magnolia Advanced Materials, Inc. All Rights Reserved
いかなる形式によっても本紙の一部または全部を複製することを禁じます。Magnobond™及び定型化されたMagnoliaのロゴは、Magnolia Advanced Materials, Inc.の登録商標です。

Magnobond Rev.3 12/6/2017

<お問い合わせ>



極東貿易株式会社

新素材部機能資材課

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1

TEL 03-3244-3846

E-mail : amd.hp01@kbk.co.jp

URL: <http://www.kbk.co.jp/>

(2/2)